



News Release

平成27年4月22日

香川大学と「道の駅」との連携事業について

「道の駅」には地域の観光資源や魅力を語る人材が集まっており、地域の課題を解決する拠点となっています。また、将来の地域活性化の担い手となる人材を育成・確保するためには、現場での就労体験を通して、実際的な知識や技術を学ぶことが重要です。

この度、香川大学の全学共通科目の一つである「地域インターンシップ」の授業の一環で、道の駅「ふれあいパークみの」、「たからだの里さいた」（香川県三豊市）、「小豆島ふるさと村」（香川県小豆島町）、「恋人の聖地うたづ臨海公園」（香川県宇多津町）で、「道の駅」を舞台に地場産品を活かした商品開発、地域の賑わいを創出するイベント企画などについて連携企画型実習を進めることになりましたのでお知らせします。

◆実施期間

- ・平成27年4月～10月（なお、10月以降も引き続き活動を行う場合もあります。）

◆場所

- ・道の駅「ふれあいパークみの、たからだの里さいた（香川県三豊市）」
- ・道の駅「小豆島ふるさと村（香川県小豆島町）」
- ・道の駅「恋人の聖地うたづ臨海公園（香川県宇多津町）」

◆大学生と連携して取り組む内容

- ・地場産品を活かした商品開発
- ・地域の賑わいを創出するイベント企画、運営
- ・ホームページ、SNSによる情報提供 等

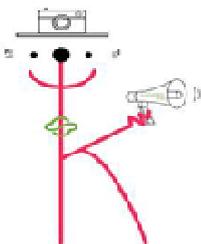
国立大学法人香川大学／三豊市・小豆島町・宇多津町／国土交通省 香川河川国道事務所

●取り組み内容に関する問合せ

- ・国立大学法人香川大学 地域連携戦略室 特命講師 やまだ かおり 山田 香織
(Tel:087-832-1938 (直通) ※ 不在の場合Tel:087-832-1359)
- ・三豊市役所 施設管理課 (Tel:0875-73-3004) 課長補佐 かんの たかゆき 菅野 尊之
- ・小豆島町役場 商工観光課 (Tel:0879-82-7007) 係長 ささたに こうじ 笹谷 幸司
- ・宇多津町役場 まちづくり課 (Tel:0877-49-8009) 課長 みやもと たかし 宮本 孝史

●制度に関する問合せ

- ・国土交通省 香川河川国道事務所 事業対策官 なかむら しんじ 中村 慎二
(Tel:087-821-1561 (代表))



「道の駅」と香川大学との連携

香川県内の4つの「道の駅」※と香川大学の学生が連携して、「道の駅」の商品開発等を行います。

※「ふれあいパークみの」、「たからだの里さいた」(三豊市)、「小豆島ふるさと村」(小豆島町)、「恋人の聖地うたづ臨海公園」(宇多津町)

①「道の駅」販売商品等の開発

- ・地場産品を活かし「道の駅」オリジナル商品や独自のレストランメニューを開発

②イベントや観光メニュー等の企画立案

- ・「道の駅」で体験できるレクリエーションや周辺地域の観光資源などを素材とした新たなツアーを企画立案

③HP、SNS等による情報発信

- ・「道の駅」と大学との連携企画の取組内容について、HP、SNS等により情報発信

【香川大学】

香川大学(所在地:香川県高松市)は、6学部、8研究科を擁した総合大学として、個性と競争力を高めるために「地域に根差した学生中心の大学」をめざしています。

また、地域貢献では、文部科学省の大学改革推進事業のひとつ、「地(知)の拠点整備事業」において、平成25年度に採択され、全学的に県内自治体が連携し、離島振興や街の活性化、定住促進対策などの地域活性化に取り組んでいます。

【商品開発】

○三豊市は県内を代表する農産物等の産地であり、生産量が全国1位のマーガレットや、三豊地域が国内発祥とされる三豊なす、その他の県内の主な生産地になっている農産品があり、それらの素材を活かしたオリジナル商品の開発を行う。



三豊なすを使った学校給食 ボイセンベリーソフト
(県内販売は「みの」のみ)



地場産品に関連した商品開発の一例

【イベント・観光メニュー企画】

○「恋人の聖地うたづ臨海公園」は、2010年から毎年7月下旬に開催される「うたづアロハナイト」の会場となっており、その企画運営に参加し、新たな企画を提案したり、SNS等による情報発信を行う。

○「小豆島ふるさと村」では「道の駅」で体験できるレクリエーションや、周辺地域の観光資源などを素材として、年間を通して観光客が滞在できる新たなツアー企画の立案を行う。



「うたづアロハナイト」
「恋人の聖地うたづ臨海公園」の観光資源



カヤック体験
小豆島ふるさと村の体験型観光



三都半島(日本の原風景)
小豆島ふるさと村周辺の観光資源